

山口県のドングリ

(16) 周東町、玖珂町の神社林のドングリ

阿武智之・阿部弘和

山口大学教育学部生物学研究室

Fagaceae in Yamaguchi Prefecture

(16) Fagaceae in the compound of shrine in Syutou-cho and Kuga-cho

Tomoyuki ANNO and Hirokazu ABE

(Biological Institute, Faculty of Education, Yamaguchi University)

(Received September 30, 2005)

Summary

The specie of Fagacea in the compound of 20 shrines in Syuto-cho and 9 shrines in Kuga-cho was investigated.

Ten species belonging to four genera, 6 broad-leaf evergreen species and 4 broad-leaf deciduous species, were identified : *Q.glauca* (in 25 shrines), *Q.salicina* (in 3 shrines), *Q.myrsinaefolia* (in 2 shrines), *Q.sessilifolia* (in 6 shrines), *Lithocarpus glabra* (in 4 shrines), *Castanopsis cuspidate* (in 10 shrines), *Q.variabilis* (in 3 shrines), *Q.acutissima* (in 1 shrines), *Castanea crenata* (in 14 shrines), and *Q.serrata* (in 11 shrines). The average number of species per a compound in Syuto-cho, and Kuga-cho was 3.1 and 2.0, respectively.

In this area, *Q.glauca*, *Castanea crenata*, and *Q.serrata* are dominant and common species; *Q.glauca* was observed in 86% of 29 shrines. *Castanea crenata* was in 48% of 29 shrines. *Q.serrata* was in 38% of 29 shrines. The appearance frequencies of these three species are as high as those of the other areas.

To addition this, *Q.sessilifolia* is found in 21% of 29 shrines in this area. It has been so rare specie in other areas that this is characteristic specie in this area

序 論

我々は山口県の自然植生を明らかにすることを目的に、各地の神社林においてドングリと呼ばれているコナラ属、マテバシイ属にシイ属とクリ属も合わせたブナ科の樹木の種類や分布等を研究してきた。そして、山口市・小郡町（花岡・阿部、1986）、阿武郡・萩市（阿部・森田、1989）、防府市・徳地町・鹿野町（阿部・郡司、1991）、宇部市・楠町・美東町（阿部・白井、1994）、秋芳町・三隅町・長門市（阿部・白井、1995）、由宇町・岩国市・和木町（西村・阿部、

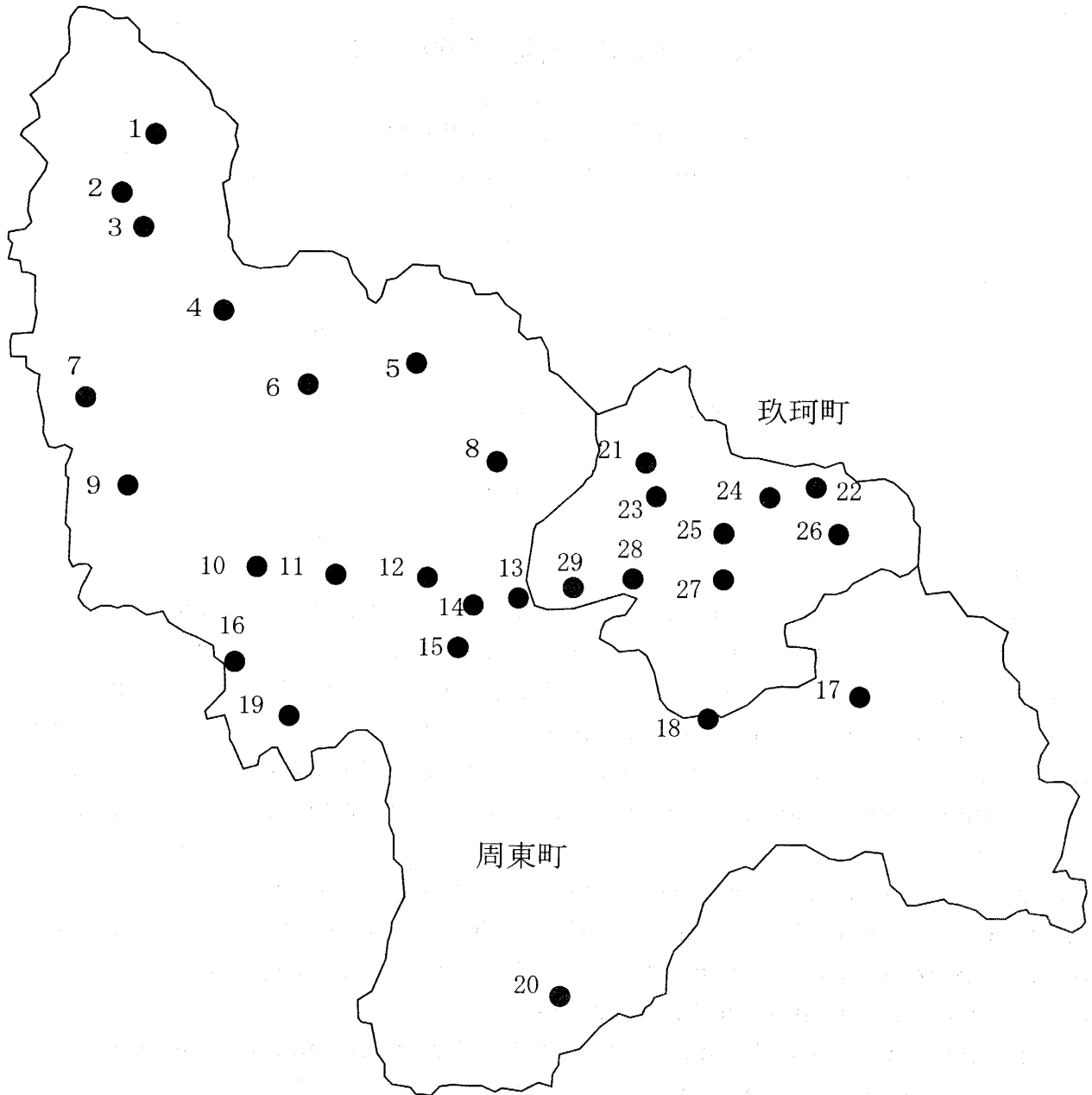


図1 神社の所在地 (番号は表3の神社の番号を示す)

1996)、大島郡(阿部・岡原、1997)、熊本郡・柳井市・大島町(阿部・岡原、1998)、下松市・熊本町・光市(阿部・原田、1999)、徳山市・新南陽市(阿部・原田、2000)、小野田市・山陽町・美祢市(阿部・小路、2001)、油谷町・日置町(阿部・松富、2002)、豊北町・豊浦町(松富・阿部、2003)、豊田町・菊川町(松富・阿部、2004)、錦町・美川町・本郷村・美和町(阿武・阿部、2005)の合計1086の神社林で調査を行ってきた。

これまでの研究により下関市、周東町、玖珂町を除く山口県のほぼ全域を調査し終え、山口県の神社林におけるドングリの分布状況がほぼわかってきた。特に明確な分布の特徴があるドングリの種類は、ミズナラ、カシワ、スダジイ、シラカシ、アベマキ、シリブカガシであることが明らかになった。ミズナラ、カシワについては、植樹されたものを除けば、山口県の最も高い地域である錦町、美和町のみに見られ、内陸高地性のドングリであることが明らかになった。またシラカシは、錦町、美川町、本郷村、美和町、美東町、秋芳町、豊田町、美祢市、鹿野町、阿東町、旭村・川上村で30%を越える出現頻度を示し、明らかに内陸性のドングリであることが示唆された。スダジイについては、日本海側において、萩市以東で高い出現頻度を示し、瀬戸内側では上関町の出現頻度65%を筆頭に東部に多く見られ、海岸性のドングリであること。山口県では東部に偏在する種であることが明らかになった。さらにアベマキ、シリブカガシは山口県東部の由宇町、岩国市のあたりでは出現頻度が高く、東部に偏在する傾向が認められた。

このようにドングリの種類と出現頻度には山口県という狭い範囲でも差があり、自然環境のよい指標となりえることが理解できる。今回の研究において、山口県東部の未調査地である周東町、玖珂町のデータを収集することにより、東部に偏在すると予測されるアベマキ、シリブカガシの分布状況の詳細をさらに明らかにするとともに、海岸性のスダジイがどこまで内陸まで存在しうるかが理解できるものと思われる。

この研究では、周東町と玖珂町の合計29の神社林で調査を行った。

調査の方法

調査は国土地理院の2万5千分の1の地図をもとに、実際にあった周東町の20の神社と玖珂町の9の神社の、合わせて29の神社で実施した。これらの29の神社の位置は図1に、また、神社名と所在地は表3に示してある。神社では社殿などの建造物を囲む境内の林とそれに隣接する林をできるだけ広い範囲で調査し、生えているドングリの種類と位置を調べた。さらに、大きな個体については胸高直径と樹高を測定した。ドングリの分類は阿部(1985)、原・阿部(1985)、岩田(1965)、北村・村田(1979)、および、矢頭・岩田(1966)に従い、いくつかの神社では社寺林調査研究委員会(1985)の資料を参考にした。調査は2004年10月から2005年8月に実施した。

結 果

神社と神社林の景観

今回調査した周東町と玖珂町は、山口県の東部の島田川上流、玖西盆地を中心とし、東は岩国市、南は柳井市、西は周南市、北は美川町と接している。玖西盆地は、島田川、東川、笹見川、中山川が集まって中央低地を形成している。気象は、海岸から近いいため瀬戸内海式気候に属している。周東町では、江戸時代に相杜八幡宮(周東町下久原)が36にわたる広範囲の氏子村をかかえており、南部には神社がほとんどなかった。したがって、今回調査した神社の大部

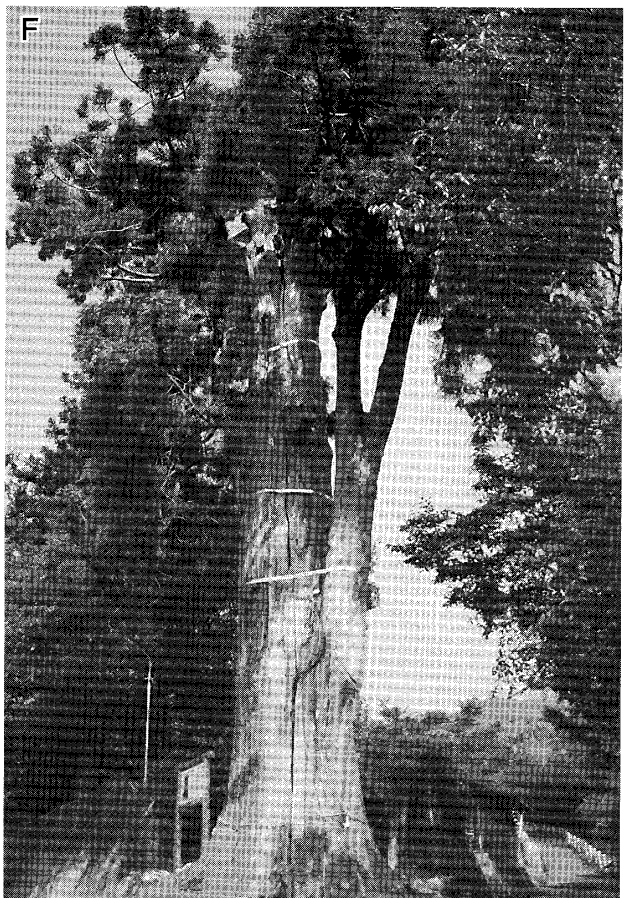
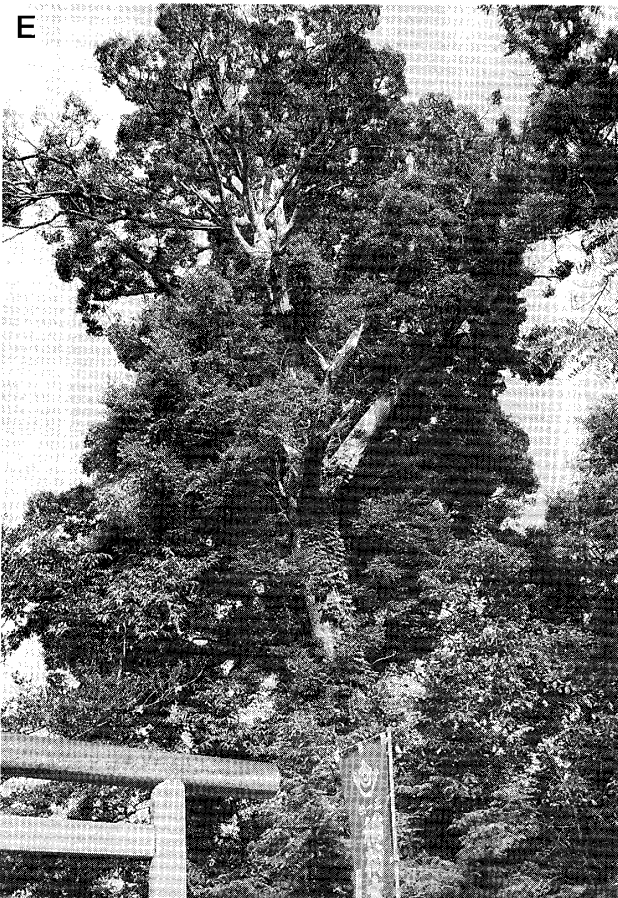
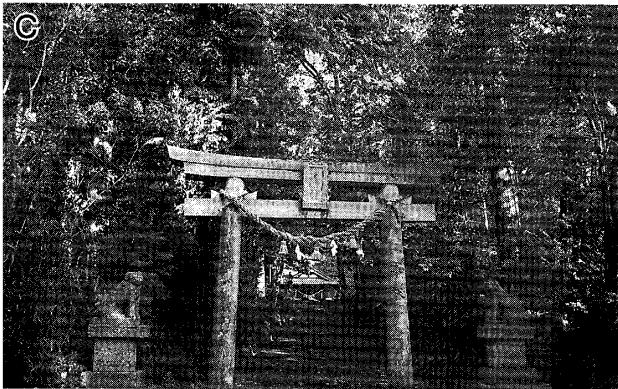


図2 神社と神社林

A. 鮎原剣神社 (周東町)
D. 梶杜八幡宮 (周東町)

B. 比叡神社 (玖珂町)
E. ツブラジイ (梶杜八幡宮)

C. 河内神社 (周東町)
F. スギ (春日神社)

分は、国道2号線沿いの町の中心部と北側の山間部にあった。玖珂町は面積が23.2平方キロメートルと小さく神社もほぼ町の中心に集まっていた。両町とも町の中心付近の丘陵地では、鮎原剣神社（周東町川上，図2 A）や比叡神社（玖珂町，図2 B）のようにツブラジイを主体とする照葉樹林が発達している神社がみられた。また、モミが自生しモミーコジイ群落を形成している梶杜八幡宮は、老樹がうっそうと覆い茂り、一目で神社があることがうかがえる景観を示していた。

また、周東町の上間部においては、林床にシキミが茂り高木層のほぼ全体をツクバネガシが占めている河内神社（周東町瀬越，図2 C）があった。ほかの神社と比べても、また、これまで調べた多数の神社と比べても、特異な神社林を形成していた。周東町においては、この河内神社（周東町瀬越）、鮎原剣神社（周東町川上）、梶杜八幡宮（周東町下久原，図2 D）の神社林が町の天然記念物として指定されていた。

ドングリの種類

29の神社であわせて4属10種のドングリを観察した。各神社の種類は表3に示してある。最も種類が多かったのは、周東町の巖隈八幡宮で8種類のドングリがあった。これに次いで多かったのは巖島神社（周東町三瀬川）と多賀社（周東町瀬越）で、5種類のドングリを観察できた。これに対してドングリが全くない神社も4社あったが、イチョウやモミなどが植樹されており、樹木が全くない神社はなかった。29の神社を平均すると1神社あたりのドングリの種類数は2.7となった。

10種のドングリの中で、常緑のドングリはアラカシ (*Q.glauca*)、ウラジロガシ (*Q.salicina*)、シラカシ (*Q.myrsinaefolia*)、ツクバネガシ (*Q.sessilifolia*)、シリブカガシ (*Lithocarpus glabra*)、ツブラジイ (*Castanopsis cuspidata*) 3属6種で、落葉性のドングリはアベマキ (*Q.variabilis*)、クヌギ (*Q.acutissima*)、クリ (*Castanea crenata*)、コナラ (*Q.serrata*) の2属4種であった。

10種類のドングリの中で最も多かった種はアラカシで29神社の86%にあたる25の神社にあった。これについて多かったのはクリで14の神社に、3番目はコナラで11の神社、4番目はツブラジイで10の神社にあった。一方、クヌギ、シラカシの2種類は出現頻度が10%未満であった。

この地域でも、他の地域と同様にアラカシ、コナラ、ツブラジイの出現頻度が高かった。しかし、他の地域で出現頻度の低いツクバネガシは、河内神社（周東町瀬越）をはじめとする6の神社で21%と高い割合で観察することができた。

この地域の神社には胸高直径100cm以上の巨樹は、6本で他の地域と比べて少なかった。ドングリの巨木は梶杜八幡宮のツブラジイ（図2 E）のみで、1本しか見られなかった。このツブラジイは、2004年の台風により枝が折れかなり痛んでいた。

ドングリ以外では、春日神社（玖珂町）のスギ（胸高直径215cm，図2 F）、比叡神社（玖珂町）のスギ（胸高直径150cm）、河内神社（周東町瀬越）にタブノキ（胸高直径135cm）の巨木があった。また、玖珂町の木にされているモミの木も大きいものがあり、胸高直径100cmを超えるものは、岩隈八幡宮（玖珂町）の胸高直径115cmの個体も見られた。神社にあった大きな樹木については表1に示してある。

地域ごとのドングリの種類

今回調査した神社を周東町と玖珂町に分け、ドングリの種類とそれぞれの出現数を表2に示

表1 神社にあった大きな樹木

樹木の種類	所在地と大きさ
ツブラジイ	梶杜八幡宮（周東町下久原, 110cm・20m）
スギ	春日神社（玖珂町, 215cm・20m）比叡神社（玖珂町, 150cm・30m）
タブ	河内神社（周東町瀬越, 135cm・25m） 齋宮神社（周東町西長野, 100cm・13m）
モミ	岩隈八幡宮（玖珂町, 115cm・30m）

() の数字は胸高直径と樹高を示す

表2 地域ごとのドングリの種類と出現数

ドングリの種類	ドングリの種類と神社数		
	周東町 (20神社)	玖珂町 (9神社)	合計 (29神社)
コナラ	8 (40)	3 (33)	11 (38)
クヌギ	0 (0)	1 (11)	1 (3)
アベマキ	2 (10)	1 (11)	3 (10)
ツクバネガシ	6 (30)	0 (0)	6 (21)
アラカシ	19 (95)	6 (67)	25 (86)
シラカシ	2 (10)	0 (0)	2 (7)
ウラジロガシ	3 (15)	0 (0)	3 (10)
シリーブカガシ	4 (20)	0 (0)	4 (14)
ツブラジイ	7 (35)	3 (33)	10 (34)
クリ	10 (50)	4 (44)	14 (48)

数字は出現数、() の数字は割合 (%)

してある。周東町・玖珂町のドングリの種類別出現頻度を比較すると、共にアラカシが最も多く、ついで、クリ、コナラ、ツブラジイと全く同じ順番であった。地域間の差としては、周東町が出現種類が10種類あるが、玖珂町は6種類と少ないことが分った。

各町内の特徴については、玖珂町は調査神社数が9と少ないが、山口県全域に見られるドングリと、隣接する岩国市で多かったアベマキが見られるなど、出現率は地域的に見て大きな差はない。しかし、由宇町・岩国市でみられたスダジイが、この地域では全く見ることができな

かった。

周東町については、北側の山間部と町の中心部以南とに大きな差がみられる。美川町に近い山間部では、ツクバネガシの出現率が高くなり、逆にツブラジイの出現率が低くなって来るが、町の中心部に近づくにつれ、ツクバネガシの出現率が低くなり、ツブラジイの出現率が高くなっている。生田神社（周東町瀬越）以北の9神社の中で、ツクバネガシは4神社でみられた（出現率44%で平均値よりも20%も上である）。しかし、ツブラジイは2神社にしかなく、出現率22%で平均値よりも10%も下であった。

このように、周東町・玖珂町ともに出現頻度は似た結果となっているが、同一町内においてドングリの出現頻度に差があることがわかった。

論 議

周東町と玖珂町にある神社を調べ合計10種のドングリを観察することができた。種類数は他の地域と比べ多くはないが、1神社あたりのドングリの種類数は2.7と比較的高いことがわかった。また、今回の調査で、アラカシ、コナラ、ツブラジイの出現頻度が他の地域と同様に高いことも明確になった。特にアラカシについては、低地、山間部に関わらず、代表的な種となっていた。

また、この地域においてはクリの出現率は48%と高く、人間の生活地域に近い場所に神社が設置されていることがうかがい知ることができた。

ともに瀬戸内海式気候である2町であるが、これまでの調査結果より海岸性の強いとされてきたスタジイは、今回の調査で1本も観察することができなかつた。海岸から15km程度内陸に入ったこの地点でも観察することができなかつたので、よりいっそうスタジイの海岸性が明らかになった。

ツクバネガシについては、各地で数%~10%程度みられるが、錦町・本郷村・美和町については、非常に高い出現率（22%）を示しており、今回の調査では、由宇町・岩国市（4%）、周東町・玖珂町（21%）とその地域に近づくにつれて出現率が高くなっていることから、ツクバネガシ自体が内陸性の植物であり、ちょうど周東町のあたりから出現率が高くなり始めると推測できた。

逆にシリブカガシについては山口県の東西における出現頻度に差があり、由宇町・岩国市のシリブカガシの出現率は19%で、周東町・玖珂町では14%、旧徳山市や下松市になると0%になり、東から西に行くほど出現率は低くなることがわかった。また、アベマキについても同様で、由宇町・岩国市の出現率が26%で、周東町・玖珂町が10%、旧徳山市1%、下松市0%と東から西に行くほど出現率は減少している。このことから、海岸・内陸性の気候以外にも生存地域の分布に影響を与える要素があることが考えられる。

こうして地域ごとの出現頻度をみていくと山口県内の比較的稀なドングリについては地域性があり、神社林を調べていくことで、その植生を知ることができると共に、微妙な自然環境の違いを知ることができるよい指標であることが理解できる。今後は、最後に残されている下関地区の神社林についての調査及び研究を行い、山口県全域にわたるドングリの分布域の詳細な研究を進めることが課題である。

謝 辞

この研究にあたり資料集めに協力して下さった川野裕史氏に深く感謝致します。

表3 神社とドングリの種類

番号	神社名	所在地	ドングリの種類
1	厳島神社	周東町三瀬川	アラカシ、ウラジログシ、クリ、コナラ、ツクバネガシ
2	川越大神宮	〃 三瀬川	アラカシ、クリ
3	河内神社	〃 三瀬川	アラカシ、クリ、ツクバネガシ
4	河内神社	〃 瀬越	アラカシ
5	御大師堂	〃 明見谷	アラカシ、クリ、コナラ
6	河内神社	〃 瀬越	アラカシ、クリ、コナラ、シリブカガシ
7	多賀社	〃 瀬越	アラカシ、クリ、コナラ、ツクバネガシ、ツブラジイ
8	鮎原剣神社	〃 川上	アラカシ、ツブラジイ
9	生田社	〃 瀬越	アラカシ、コナラ、シラカシ、ツクバネガシ
10	河内宮	〃 西長野	アラカシ、クリ、ツブラジイ
11	三島神社	〃 下須通	アラカシ、クリ、シリブカガシ
12	斎宮神社	〃 西長野	アラカシ
13	梶杜八幡宮	〃 下久原	アベマキ、アラカシ、ウラジログシ、ツブラジイ
14	高森天満宮	〃 下久原	
15	熊野神社	〃 用田	アラカシ、コナラ、シリブカガシ、ツブラジイ
16	須賀社	〃 西長野	アラカシ
17	新宮神社	〃 祖生	アラカシ、ツクバネガシ、ツブラジイ
18	厳隈八幡宮	〃 祖生	アベマキ、アラカシ、クリ、コナラ、シラカシ、シリブカガシ、ツクバネガシ、ツブラジイ
19	天王社	〃 差川	アラカシ
20	中田八幡宮	〃 田尻	アラカシ、ウラジログシ、クリ、コナラ
21	比叡神社	玖珂町	アラカシ、ツブラジイ
22	荒神社	〃	アベマキ、アラカシ、クリ
23	出雲大社	〃	
24	上野宮社	〃	アラカシ、クリ、コナラ、ツブラジイ
25	岩隈八幡宮	〃	アラカシ、クヌギ、ツブラジイ
26	春日神社	〃	
27	琴平宮	〃	アラカシ、クリ、コナラ
28	菅原社	〃	
29	須佐神社	〃	アラカシ、クリ、コナラ

※玖珂町については大字なし

引用文献

- 阿部弘和 (1985) : ドングリの分類と観察、遺伝39巻9号、66-71
- 阿部弘和・森田和則 (1989) : 山口県のドングリ (2) 阿武郡、萩市の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、39巻 (第2部)、13-27
- 阿部弘和・郡司浩史 (1991) : 山口県のドングリ (3) 防府市、徳地町、鹿野町の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、41巻 (第2部)、23-36
- 阿部弘和・臼井直希 (1994) : 山口県のドングリ (4) 宇部市、楠木町、美東町の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、44巻 (第2部)、1-12
- 阿部弘和・臼井直希 (1994) : 山口県のドングリ (5) 秋芳町、三隅町、長門市の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、45巻 (第2部)、19-30
- 阿部弘和・岡原恵子 (1997) : 山口県のドングリ (7) 大島郡の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、47巻 (第2部)、13-25
- 阿部弘和・岡原恵子 (1998) : 山口県のドングリ (8) 熊毛郡、柳井市、大島町の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、48巻 (第2部)、11-24
- 阿部弘和・原田憲幸 (1999) : 山口県のドングリ (9) 下松市、熊毛町、光市の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、49巻 (第2部)、1-11
- 阿部弘和・原田憲幸 (2000) : 山口県のドングリ (10) 徳山市、新南陽市の神社林のドングリ 山口県教育学部研究論叢、50巻 (第2部)、21-30
- 阿部弘和・小路聡 (2001) : 山口県のドングリ (11) 小野田市、山陽町、美祢市の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、51巻 (第2部)、45-58
- 阿部弘和・松富憲之 (2002) : 山口県のドングリ (12) 油谷町、日置町の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、52巻 (第2部)、13-27
- 岩田利治 (1965) : 図説樹木学—広葉常緑樹編—、朝倉書店 (東京)
- 岡国夫ほか (1972) : 山口県植物誌、山口県植物誌刊行会 (山口)
- 岡国夫 (2000) : 山口県の巨樹資料 植物調査の歩み、山口県植物研究会 (山口)
- 吉良竜夫 (1976) : 自然保護の思想、人文書院 (東京)
- 北村四郎・村田源 (1979) : 原色日本植物図鑑木本編、保育社 (東京)
- 社寺林調査研究委員会 (1985) : 山口県の社寺林、社寺林調査研究委員会 (山口)
- 花岡隆義・阿部弘和 (1986) : 山口県のドングリ (1) 山口市の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、36巻 (第2部)、27-36
- 原靖治・阿部弘和 (1985) : 野外学習の進め方：ドングリの分類と観察 山口大学教育学部研究論叢、35巻 (第3部)、59-80
- 西村淳・阿部弘和 (1996) : 山口県のドングリ (6) 由宇町、岩国市、和木町のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、46巻 (第2部)、19-28
- 松富憲之・阿部弘和 (2003) : 山口県のドングリ (13) 豊北町、豊浦町の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、53巻 (第2部)、1-13
- 松富憲之・阿部弘和 (2003) : 山口県のドングリ (14) 豊田町、菊川町の神社林のドングリ 山口大学教育学部研究論叢、54巻 (第2部)、81-90
- 矢頭献一・岩田利治 (1966) : 図説樹木学—落葉広葉樹編—、朝倉書店 (東京)
- 山口県野外植物研究委員会 (1993) : 山口県の社寺林、山口県野外植物研究委員会 (山口)